

図書館ニュース

第36号(平成17年(2005)9月)

<http://www.scopus.com>

使っていますか？

抄録・索引・引用データベースScopus

1. Scopusって何？

Scopus は、4,000 以上の出版社から刊行される 14,000 誌以上の科学・技術・医学・社会科学の文献を網羅する抄録・索引・引用データベースです。エルゼビア社が刊行する書誌データベース EMBASE、Compendex、GEOBASE、BIOBASE を完全に網羅し、さらに MEDLINE 等のデータベース収録タイトルのほぼすべてを収録しています。

抄録は最も古いものは 1966 年まで遡り、総計 2,700 万件を収録し、2005 年以降は毎年 110 万件的ペースで追加されていく予定です。

さらに、1996 年以降に出版された論文には、引用文献情報が付いているため、論文間の引用リンクを用いた検索を行うことができます。

Scopus トップページ画面 (<http://www.scopus.com>)

2. Scopusの特長

使いやすいインターフェース

2つの入力欄に検索語を入力し検索を行う**基本検索 (Basic Search)**とコマンドを入力して、論理演算子などを使った複雑な検索を行う**上級検索 (Advanced Search)**、さらに特定の著者名で検索を行う**著者検索 (Author Search)**があります。

また、最初に幅広い検索を行い、その検索結果を Source Title など 5 つの切り口にマトリクス表示し、必要な項目を取捨選択できる**絞り込み機能 (Refine Results)**があります。

引用ナビゲーション機能

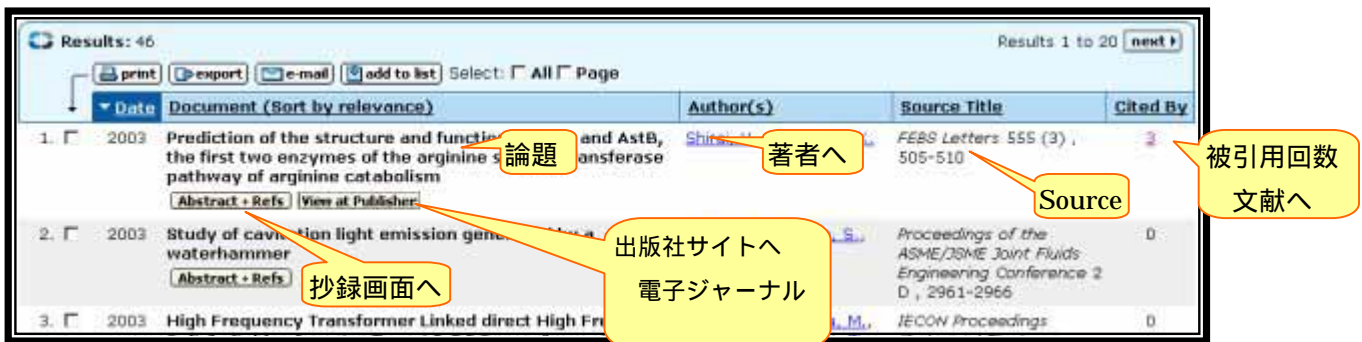
引用データベースでもある Scopus 内のレコードは引用・被引用間にリンクが貼られているため、ある文献を起点に「その文献が引用した文献」、「その文献を引用した文献」及び「その文献と引用を共有する文献」を調べることができます。

フルテキストリンク機能

各出版社のサイトにあるフルテキストにリンクしていますので、その文献が本学で契約している電子ジャーナルに収録されている場合は、フルテキストを表示することができます。

検索式の保存とアラート機能

よく使う検索式を保存したり、指定した検索式と合致する論文が Scopus に収録されたときや指定した論文が引用されたときにメール送信される機能です。(予め、ユーザー登録が必要ですが、ScienceDirect でユーザー登録済の場合は、そのユーザーID を利用できます。)



(検索結果一覧画面)

(参考文献: 足立泰. 学術ナビゲーションサービス : Scopus (スコーパス). 情報管理. Vol.47 No.8 p.558-562 (2004))

「Scopus & ScienceDirect ユーザートレーニング」のお知らせ

エルゼビア社の抄録・索引・引用データベース「Scopus (スコーパス)」と同社が刊行する約 1,600 タイトルの電子ジャーナルを収録する「ScienceDirect (サイエンスダイレクト)」のユーザートレーニングを開催いたします。

日 時： 平成 17 年 9 月 29 日 (木) 13:00-15:00
場 所： 総合情報処理センター松本分室
講 師： ゼファー株式会社 松山裕二氏
対 象 者： 旭キャンパスの教員、院生、学生等
定 員： 40 名 (定員に達しだい締め切りとさせていただきます。)
内 容：

Scopus の説明と実習及び Q&A

ScienceDirect の実習 (リンクの活用、主題によるフルテキスト検索、アラートの設定等)

申込方法： 氏名、所属、教員・院生・学生の別、メールアドレスを記入したメールを附属図書館共用資料係 zasshi@shinshu-u.ac.jp までお送りください。または図書館カウンターまでお申込みください。

申込期限： 9 月 26 日 (月)

他キャンパス (若里：10/20、南箕輪：10/21、上田：10/28) についても、順次開催します。詳細は各キャンパス図書館までお問い合わせください。

信州大学附属図書館統括課システム係 発行

内線:2302 e-mail: library@shinshu-u.ac.jp